

報道関係各位

2014年12月19日

WebRTC Conference Japan 実行委員会

WebRTC Conference Japan 日本で初開催！

リアルタイム・コミュニケーション技術のオープン標準
「WebRTC」をテーマとした日本初のカンファレンスを開催します

今、世界中の Web 技術者から注目を集めている技術「WebRTC」。

WebRTC の本質は、リアルタイム・コミュニケーション技術のオープン標準です。Web アプリやモバイルアプリでの利用が既に始まっているだけではなく、IoT (Internet of Things) 分野でも活用されはじめており、WebRTC が世界をどのように変えるのか、今こそ真剣に考えるべきだと言っても過言ではないでしょう。

このイベント「WebRTC Conference」は、WebRTC をテーマとした日本初のカンファレンスです。WebRTC の現状と可能性について、技術的な観点だけではなく、ビジネス的な観点からも存分に学べる場を目指します。

開催概要

名称：	WebRTC Conference Japan
Web サイト：	http://webrtcconference.jp/
日程：	2015年2月5日(木)、6日(金)
開催地：	ソラシティ カンファレンスセンター 2F JR 御茶ノ水駅徒歩1分・東京メトロ新御茶ノ水駅直結
参加人数：	有料参加者 200名 協賛社、講演者など関係者 100名 合計 300名 (予定)
参加費：	一般参加者向け 2day チケット 32,400円 (税込み) WebRTC 開発者向けの特別チケットを準備中 (詳細は後日発表) 一般参加者には、WebRTC 対応ロボット「Romo ^{*1} 」をプレゼント！

主なセッション：

- 基調講演 Real Time Communications (RTC) on the Web – use cases and deployments
- 基調講演 エンタープライズ環境における WebRTC 活用のポイント
- IoT の現状と WebRTC 活用の可能性
- WebRTC の活用事例・製品事例
- WebRTC の裏側 シグナリングと TURN/STUN のプロトコル解説
- コンタクトセンターの未来

- WebRTC を使ったあんなことやこんなこと！WebRTC アプリだらけのライトニングトーク大会！
- WebRTC エキスパート座談会: WebRTC が世界に与えるインパクトを探ろう
- WebRTC Data Channel の活用方法とその可能性
- ネイティブモバイルアプリでも WebRTC を活用する
- WebRTC がビデオ会議システム市場に与えるインパクトを探る
- WebRTC 関連技術の標準化動向
- ウェブの進化と未来 ～ Beyond HTML5 ～

セッションタイトルは変更される可能性があります。詳細は、<http://webrtcconference.jp/session/> をご覧ください。

WebRTC について

WebRTC は、音声、映像、データのリアルタイム・コミュニケーション技術のオープン標準です。IETF^{*2} と W3C^{*3} において標準化が進められています。従来の技術と比較すると、仕様が公開されている、ネイティブアプリ^{*4} と Web アプリ^{*5} の両方で利用できる、相互接続できる、特許使用料が不要、ロイヤリティフリーなどのメリットがあります。

代表的な用途は、ビデオ会議、コンタクトセンター、ファイル交換などが挙げられます。CDN^{**6}、対戦ゲーム、家電、ロボット、IoT 等の様々な分野でも活用され始めており、WebRTC の可能性に注目が集まっています。

WebRTC Conference Japan 実行委員会について

WebRTC Conference Japan 実行委員会は、WebRTC というイノベーティブな技術の認知度・注目度を高めることを目指し、2014 年 11 月 4 日に設立されました。

委員長

小松健作(NTT コミュニケーションズ株式会社)

実行委員

インフォコム株式会社

NTT アドバンステクノロジー株式会社

NTT コミュニケーションズ株式会社

セールス・オンデマンド株式会社

ダイアロジック・ジャパン・インク

日本オラクル株式会社

株式会社ニューフォリア

本件に関するお問い合わせ先

WebRTC Conference Japan 実行委員会

広報担当 馬場、仲、白石、水嶋

webrtcconferencejapan-contact@googlegroups.com

※1 Romo: <http://www.romotive.jp/>

※2 IETF: The Internet Engineering Task Force。インターネットで利用される技術の標準化を策定する組織。

※3 W3C: World Wide Web Consortium。World Wide Web で使用される各種技術の標準化を推進するために設立された標準化団体。

※4 ネイティブアプリ: OS 上で直接実行されるアプリケーション・ソフトウェア

※5 Web アプリ: Web ブラウザ上で実行されるアプリケーション・ソフトウェア

※6 CDN: Content Delivery Network。コンテンツを効率的に配信するネットワーク型プラットフォーム。